

## 寺堀の毘沙門天

寺堀地区内におまつりしてある毘沙門天さまは、そのむかし、寺堀と西麻生の間を通っていた法用寺街道の近くを流れていた川の淵に、棄ててありました。

寺堀と西麻生の間は、雑木林と葦やつが、ずうつと清水の川にそって生えており、その川も曲りくねって流れていたのです、その葦やつに入ると方角が分らなくなるくらいでした。

この辺は地下水が高く、いたるところにチヨロチヨロとわき水のところがありました。

この川に、寺堀の子供達が、魚取りにきました。魚を取りながら、川をのぼり、法用寺街道の南まで来たとき、先に行っていた一人が、大声で叫んでいるのが、葦の間から聞こえてきました。

「おーい。ここに、変なのがあるぞー。大きな侍のようなかっこうをした、人形みたいな